

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング (37)」

2. 日 時 : 令和4年6月2日 (木) 15時15分～15時45分

3. 場 所 : 原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

小澤安全規制調査官、石井企画調査官、中野上席安全審査官、羽場崎主任安全審査官、野村主任安全審査官、田中管理官補佐、鈴木安全審査専門職、内海安全審査専門職、川村安全審査専門職

リサイクル燃料貯蔵株式会社

貯蔵保全部 土木・建築GM 他4名

東電設計株式会社

建築本部 建築解析評価部担当者

5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

6. その他

資料1 地震時杭応力算定に用いる地盤ばねの算定に用いる地盤定数について

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---|
| 0:00:02 | ではこれより、6月2日のRFSの設工認に関するヒアリングを始めたいと思います。まず初めに、RFS側出席者の紹介をお願いいたします。 |
| 0:00:18 | はいRFS東京事務所のです。本日鳥山が出席者、武内土木建築担当を含めまして4名です。 |
| 0:00:29 | 戸村からちょっともう1名、入る予定ですがまだちょっと繋がっておりません。ナガミネがぶつから搬入となっております。それから、 |
| 0:00:42 | 佐藤狩野ですね。あと、この設計の方からして、太田さん1名が参加いたします。はい。以上です。 |
| 0:00:59 | 規制庁のイシイです。出席者については了解しました。東電設計太田さん、入られてますかね。聞こえていれば、 |
| 0:01:08 | お返事をいただければと思います。 |
| 0:01:15 | 当然設計の講座です。聞こえますけど、聞こえますでしょうか。 |
| 0:01:23 | 規制庁の石井です。聞こえています。このまま続けたいと思います。すみません。はい。規制庁の石井です。それでは急遽また本日、ヒアリングを設定させていただいて、 |
| 0:01:35 | 送っていただいた資料について本当に簡単に説明はいただきたいとは思いますが、基本的にはそのあと、規制庁側から、 |
| 0:01:44 | いただいた資料と、所則説明資料に関して、少し確認させていただければ、確認したいというふうに思っています。 |
| 0:01:53 | 一番のポイントは、既認可のA棟、 |
| 0:02:00 | 基準地震動と今回の基準地震動が出てる中で、5す。いただいている資料の剛性低下率の値が、基本的に |
| 0:02:14 | 端数を切る前の値に差がない理由が何なのかっていうところをきちんと説明していただきたいというのが一番説明のポイントです。 |
| 0:02:22 | 簡単によろしくをお願いします。 |
| 0:02:26 | はい、それでは説明いたしますR3ヶ月でございます。時間も限られておりますので要点だけ差し上げたいと思います。今回の先ほどご指摘のあった剛性定率化率がほとんど変わらないという理由ですけれども、 |
| 0:02:40 | 入力としては450ガルと600ガルというふうになっておりますけれども、資料の4ページをご覧くださいと思いますけれども、 |
| 0:02:48 | これが地盤の剛性のひずみ依存性のカーブでございます、下の軸にですね、赤字口で450Galの時のひずみ、青印で、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:02:59 | 600Gal のとき、SF のときの傷に落としておりますけどそれから垂直に上げたところで、縦軸のせん断剛性のGG0の τ 業務等、それぞれ定休2と0.91のような値で、 |
| 0:03:14 | いずれも若干変動しますがけれども剛性の残存率についてほとんど変化がないということで、地盤モデルに用いる物性も同じ値を用いているということでございます。説明は以上でございます。 |
| 0:03:35 | はい。規制庁ハバサキです。今説明いただいた件なんですけれども、 |
| 0:03:40 | ちょっともう少し前の段階からですね一つ一つちょっと確認したいと思います。 |
| 0:03:46 | ちょっと別の資料、先ほど石井の方から話があった節2を01302回15月30日付RFSより提出があった資料。 |
| 0:03:59 | これ、太田さんの方はご覧になれるのでしょうか。 |
| 0:04:11 | 網大丈夫ですか。はい。はい。規制庁濱崎です今画面の方で共有できればと思います。一つ一つ確認したいのはまず、5ページ。 |
| 0:04:24 | 金。 |
| 0:04:25 | 施設工認と今回申請のS _s の比較ということで、決定的なものはS _s ワンとS _s -Aというふうにはほぼ考えられるということで、 |
| 0:04:36 | まず使われている波については既設と今回っていうのはこのは形で問題ないということで、認識、まずはよろしいわけですね。 |
| 0:04:45 | はい、そうです。はい。 |
| 0:04:48 | そのスペクトルはですね10ページの方見ていただくと、上が水平のスペクトルになって、 |
| 0:04:56 | 先ほどの既設の方は、黒の方ですね、黒野藤さん方のスペクトル案でS _s -Aの今回工認、背申請に関しては、青野藤さん方のスペクトル、 |
| 0:05:08 | この認識も問題ないということでよろしいですか。 |
| 0:05:12 | はい。はい。大丈夫です。 |
| 0:05:14 | 規制庁濱崎です。この二つの開放解放基盤位置での基準地震動の違いがあって地盤応答をした結果が最終的には12ページ先ほど |
| 0:05:27 | 武内さんから話がありました。 |
| 0:05:30 | ここではひずみは出てないんですけれども剛性低下率としては、特に杭のばねということで城層の方ですね、田邊層を中心としたところの剛性低下率が、 |
| 0:05:43 | 新旧季節と今回では、端数を除けば、一緒であると、変わらないと。 |
| 0:05:50 | いうことに、説明が先ほどあったわけですから、 |
| 0:05:54 | 実際地盤応答の方ですね |
| 0:05:58 | 他の資料見ますと、地盤の加速度応答ですけれども、深さ方向の |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:06:05 | 先ほどの既設工認ですと、基礎下 13.8 円のところですか、500、600 ガルを下回る値で最大加速度、 |
| 0:06:16 | 今回申請分ですと、600 を上回ってる。1 割弱ぐらいですかね立地は前後上回っている、そういう加速度応答になっているというふうに理解していますので、 |
| 0:06:29 | ちょっとここら辺は今後ですね |
| 0:06:32 | 深さ方向の加速度或いはある基準点でからの相対変位とかですね、或いはひずみの分布とかも含めて比較をしていただきたいんですけども。 |
| 0:06:43 | 説明をしてもらいたいと思うんですけども。 |
| 0:06:46 | 応答値としては、地盤の応答値としては、 |
| 0:06:50 | 若干の差が出てきているというふうに、こちらは認識してるんですけども、 |
| 0:06:59 | それにもかかわらず先ほど説明があった地盤の動特性上のひずみと申しますか結果が最終的には変わってないという、 |
| 0:07:10 | その理由として考えられる、何か要因について説明をいただけますでしょうか。 |
| 0:07:22 | はい。 |
| 0:07:28 | 記。 |
| 0:07:29 | 東電設計の大賀です。 |
| 0:07:32 | えっとですねまず最初の |
| 0:07:37 | リサイクルさんの武内さんの方からご説明のあった、そんなに |
| 0:07:44 | さばないというのも、あれは多分、 |
| 0:07:48 | D N、 |
| 0:07:49 | 城層の T n サンプルの例で、 |
| 0:07:54 | もうちょっと下に血縁の 4 とかに行くと、 |
| 0:07:58 | 要はひずみレベルで見ると、 |
| 0:08:01 | 差が出てきてたような、 |
| 0:08:06 | そんなんではないか。 |
| 0:08:12 | 下がってはいるはずなんですけれども、 |
| 0:08:18 | そうですね。 |
| 0:08:20 | あと、 |
| 0:08:21 | もう一つというのは、これよりもちょっと下のレベルの層、 |
| 0:08:25 | 自体も、 |
| 0:08:27 | 全体的に下がっております、 |
| 0:08:31 | ただ、もともとのひずみのレベルが、小さいところ、低いところの花 C、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:08:40 | もともところ、 |
| 0:08:43 | 既設の、 |
| 0:08:45 | 400 所からの時でも、それほど、もともとひずみが進んではいないような応答でしたので、 |
| 0:08:54 | 間瀬線形といえば線形の範囲なんですけども、 |
| 0:08:59 | なので、それで1割ぐらい。 |
| 0:09:02 | 応答が大きくなるとしても、そんなに、 |
| 0:09:08 | 泉がぐっと進むとかそういう、 |
| 0:09:12 | ようなまだレベルには至っていないような地盤。 |
| 0:09:16 | 状態。 |
| 0:09:17 | ということで、 |
| 0:09:19 | 結果的に、 |
| 0:09:21 | 確かに斜、 |
| 0:09:23 | そういう処理もあるんですけども、等価地盤ブッセンしてしまうと、 |
| 0:09:29 | 上層に、国の関係のところに関しては特にそんなに、 |
| 0:09:34 | 変動がないと。 |
| 0:09:37 | その下の方は、多少、 |
| 0:09:39 | 等価地盤モデルにした時に差があった。 |
| 0:09:43 | あったはずなので、 |
| 0:09:46 | 真木今 |
| 0:09:48 | もともとがそんなに、 |
| 0:09:54 | 構成低下が進んでない。 |
| 0:09:57 | 泉が小さいところのレベルの。 |
| 0:09:59 | 話というところで、 |
| 0:10:03 | そんなにす。 |
| 0:10:05 | この両者の差が、 |
| 0:10:08 | それほどあらわれてないのかなと。 |
| 0:10:10 | 考えております。 |
| 0:10:16 | はい、規制庁ハバサキです。 |
| 0:10:22 | 既設工認等、今回申請があまり変わらない、地震荷重としては地震力としては |
| 0:10:31 | 1割強大きくなってるとはけれども、そのZPAレベルですけども、特に、 |
| 0:10:38 | その田辺層、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:10:40 | 大木、中心とする杭基礎周りの地層ですねこれがほとんど変わらないと、ただ、それ以深のところに関してはそこそこには変わってますよというような説明というふうに受けましたで、実際、 |
| 0:10:55 | 先ほどの資料の12、12ページを見てですね太田さんの言われることは、 |
| 0:11:02 | ある意味、理解はしたつもりなんですけれども、 |
| 0:11:06 | 具体的にそういったですね先ほど言いましたように、ひずみとか或いは或いは相対変位だとかですねそこら辺の情報を含めて考察っていうのはまだされてない。 |
| 0:11:20 | ですね要は、 |
| 0:11:22 | 地盤ばねを設定する上での対象とする地盤が、今回、 |
| 0:11:29 | 地震動が変わったけれど変わらない、その理由についてというような観点の考察っていうのは、 |
| 0:11:36 | 特にはされてないですね |
| 0:11:40 | いや、いやそういう資料ってなり、エビデンスも含めてですね |
| 0:11:46 | きちんとまとめていただければということで、あと、先ほど来、事実確認したのは途中のプロセスで何か例えばSHAKEのモデル、層割りを変えるだとか、計算の |
| 0:11:58 | 方法勝るとかあと地盤の動特性が変わったとかそういうことも含めてですね |
| 0:12:06 | 全く同じ条件、 |
| 0:12:11 | なのかどうかというのもこちらわかりませんのでですね。 |
| 0:12:14 | 変えたところを書いてある出ちゃきちんとこそ説明いただいた上で、先ほど地盤のバネとして変わらない理由、 |
| 0:12:24 | こちらとしては確認できればいいというふうに思います。 |
| 0:12:28 | 確かにこれかなり |
| 0:12:31 | 通う基盤が深いこともあって地盤自体もそんなにインピーダンスがでこぼこする話じゃないんで、 |
| 0:12:38 | はい。かなり |
| 0:12:40 | 委員の方としても地盤の応答の |
| 0:12:45 | 榎本としても一次に近いような、こうたらっとした形で減衰の効果でどんどん小さくなるようなそういう地盤なんで、 |
| 0:12:54 | 特異な現象がないで、 |
| 0:12:58 | とは思ってますで、 |
| 0:13:01 | やはり、先ほどの資料見る限り、基準地震動がかなり |
| 0:13:09 | スペクトルベースでは、これ、大体、 |
| 0:13:14 | 地盤の福土固有周期としては、 |
| 0:13:18 | こういう周期っていいですか卓越周期としては、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:13:22 | 0.3秒とかそのぐら良いになるんですかね。 |
| 0:13:28 | 要は、要はその |
| 0:13:30 | 対応基盤の基準地震動の、スペクトルで天田山の範囲のフラットのところですし、 |
| 0:13:38 | 基礎下の範囲での応答スペクトルを新旧で比較するとどうなっている。 |
| 0:13:44 | 結果的に大きな振動特性の影響を |
| 0:13:51 | この田部層では受けてなくて、 |
| 0:13:56 | タラタラっとこう、その応答性状としては、新旧では変わったあまり大きな変化はない。 |
| 0:14:03 | で、最終的にはこの丸めの誤差の範囲、それで結果的には、一緒の数字になってますっていう説明ならば、 |
| 0:14:14 | 歩いある程度理解はできるんですが、 |
| 0:14:17 | ちょっとそこら辺が |
| 0:14:20 | かえて何変えてるものが実はありましたとかいう話ですと、なかなかこちらからは、審査する上でですね後出しそういうことをされると非常に |
| 0:14:30 | 審査が止まってしまいますんですね、ちょっとそこら辺を、 |
| 0:14:34 | 今の段階で確認したいということで今日、急遽ヒアリングさしていただいています。 |
| 0:14:41 | そこら辺当然設計の方とか或いはRFS数としても、何か今の段階で思い当たるものっていうのは、 |
| 0:14:50 | 特に、 |
| 0:14:51 | というか、何かあれば、説明願いたいんですが、 |
| 0:14:55 | 何かありますでしょうか。 |
| 0:14:58 | 東京の設計の太田です。 |
| 0:15:00 | まずですね、甲斐等価線形の解析自体は、 |
| 0:15:04 | 波を変えただけで全くそれ以外の数字は変えておりません。まず、はい。 |
| 0:15:13 | で、 |
| 0:15:14 | 解析はとにかく波を変えているだけで、あとそれ以外の条件は一切、前と同じでございます。 |
| 0:15:23 | それとですね。 |
| 0:15:29 | 確かに |
| 0:15:30 | 入力スペクトル自体、 |
| 0:15:33 | さはある、ありまして、応答としても、 |
| 0:15:38 | その比率でちょうど同じぐらいに、 |
| 0:15:42 | 比率で上がっていくと。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:15:44 | すいません。 |
| 0:15:47 | 解放基盤面からのスペクトルの比較と、 |
| 0:15:51 | 基礎下の入れる入力の波の比率も大体同じ。 |
| 0:15:57 | 大体線形線形の関係、そこら辺になってまして。 |
| 0:16:02 | なっております。それで、 |
| 0:16:05 | ですね、確かに |
| 0:16:09 | 大崎さんの言われた通りこの地盤家結構下から徐々に、 |
| 0:16:14 | V _s も上がって、 |
| 0:16:17 | かなり綺麗といいますか。 |
| 0:16:22 | 層序も、 |
| 0:16:23 | そんなデコボコし、V _s の大小関係も変な、 |
| 0:16:30 | 分布も綺麗な分布で、うち周期、 |
| 0:16:35 | ちょっとイシイ集計の地盤の一次周期についてはちょっと今すぐ ちょっとは、 |
| 0:16:41 | 言えないんですけど、ちょっと忘れてしまいましたすぐ言えない んですけども、 |
| 0:16:47 | 基本的に、ある程度、 |
| 0:16:50 | まだ自賠ゼロがそんなに進んでない範囲です、両者が。 |
| 0:17:00 | 冒頭として、 |
| 0:17:02 | 主な変更基盤から上の方に上がって出ると。 |
| 0:17:06 | というような性状で、 |
| 0:17:08 | 確かにまだちょっと、両者の比較としての考察といいますか。 |
| 0:17:14 | この辺は、 |
| 0:17:18 | もうちょっと付け加えたいと思います。はい。 |
| 0:17:27 | 規制庁浜崎ですはいありがとうございます |
| 0:17:29 | 清空のインプットに関しては波を変えた入力、介護基盤の入力 を変えただけということですが例えば宗有田とか、 |
| 0:17:41 | もう全く入っております。はい。よろしいですか。はい。一 緒です。はい。当然設計の太田です。宗割もすべて全く同じでござ います。 |
| 0:17:51 | はい。規制庁浜崎ですはい。理解しました。 |
| 0:17:55 | 確かにひずみレベルとしては、本ひずみレベルでいいかな剛性低 下率がコンマ9とか8ですからひずみレベルとしてもそんなに大 して進んだ話ではないし、 |
| 0:18:10 | 特殊な数をし、局所的な話だとかも、基本的にはないというふう に思えばですねこの結果自体、ある程度は読めるんですが定量的 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| | にちょっとそこまで本当に大丈夫なのというところがありますので、 |
| 0:18:26 | ちょっと先ほど申しましたけれども最終的には地盤ばねが既工認と今回申請で同じになる理由、それについて、地盤応答の観点からですね、泉田変形であり、 |
| 0:18:40 | 等を含めてですねちょっと考察の方、説明の方、準備をしてもらって補足説明の形で最終的に提出いただければいいというふうに思ってますので、 |
| 0:18:51 | よろしくお願いします。RFSははよろしいでしょうか。 |
| 0:18:58 | はい、武でございます少し理解しましたので補足説明資料の改訂を行いたいと思いますありがとうございます。 |
| 0:19:06 | 規制庁浜崎です。はい。私はそれでメインのところはそれで一応確認、準備をし、してもらって、最終的にチェックという形になると思います |
| 0:19:17 | なるべく定量的なものをですね、今回、説明の方をしてもらいたいと思いますので、 |
| 0:19:24 | お願いします。それで、1点ちょっと |
| 0:19:29 | これはメインの話ではないんですけども、剛性低下率、例えば計算するような時にですね、その端数の処理と言われてますけども、 |
| 0:19:38 | これ、 |
| 0:19:40 | 切り捨てるところと、切り捨て。 |
| 0:19:43 | のルールで普通されるかと思うんですがここは、RFSの場合はあれですか、四捨五入でされてるということですか。 |
| 0:19:55 | 状態設計の問題ですか。はい、そうです。そうです。はい。規制庁浜崎です。はいわかりましたじゃ、支社50で統一さされてると、いうふうに理解。 |
| 0:20:06 | すればよろしいわけですね。 |
| 0:20:09 | はい。 |
| 0:20:10 | はい。規制庁浜崎です。はいその辺をちょっとどっか記載等も含めてですね、 |
| 0:20:17 | してもらいたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。 |
| 0:20:23 | あれ、ちょっと待ってください。はい。 |
| 0:20:25 | そうですね白子によって赤いてありますね今 |
| 0:20:28 | 先ほどの地盤物性のところにですね、減衰に関しては四捨五入なんですね、減衰に関しては、起立ですかごめんなさい。 |
| 0:20:37 | 次は0は、石坂ですねはいわかりました。はい。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:20:42 | はい。これは別に良い悪いの話じゃないんでこういう考え方という事で理解しました。 |
| 0:20:50 | はい。 |
| 0:20:52 | 規制庁浜崎です私の方から一応確認は以上です。 |
| 0:20:59 | 規制庁の石井です。今日の確認事項は、これで概ねいいかなと思ってるんですが他に、規制庁側で何か確認しておく点ありますか。 |
| 0:21:21 | イシイです。なければ、RFS側で今ハバサキキーがいったポイントで発足を整理するとするとどのくらいかかりそうですかね。 |
| 0:21:37 | すいませんちょっと資料を作る方と、作成方とちょっと相談しないと今、にわかにお答えできないんですけども、 |
| 0:21:46 | 問題かなあ、今おっしゃったのはその地盤のモードの話を補足説明資料に加えるという点だけでよろしいですよ。 |
| 0:21:57 | 石井です。今日のハバサキのコメントに対する資料。 |
| 0:22:03 | ていうことですね。 |
| 0:22:05 | 特に、 |
| 0:22:07 | 地盤応答の観点から地盤ばねが同じ理由になる。 |
| 0:22:12 | ことを定量的に考察した結果っていう部分を、どのくらいで、 |
| 0:22:17 | 作っていただけるかっていう、もう今ちょっとそこに一番大きな論点が出てくるので、 |
| 0:22:23 | はい。 |
| 0:22:26 | 1週間程度いただいて、10日以内には出せるように今、作成しようとして思っております以上です。 |
| 0:22:34 | 規制庁の石井です。状況はわかりました。 |
| 0:22:53 | 規制庁のカワムラです。江藤規制庁側でその他確認事項とございますでしょうか。 |
| 0:23:05 | すいません規制庁ノムラですけどちょっと、 |
| 0:23:08 | 県民課と同じな、同じ点ってことで特にコメントしなかったんですけど。いや今までコメントには繋がってんですけど今のですね四捨五入の話なんですけど、私が今のですね、例えば、 |
| 0:23:22 | 0.917を0.9とすると、0.83-50.8として、 |
| 0:23:28 | そのあと等価せん断弾性係数を出してるっていうこと考えると、 |
| 0:23:34 | 何か有効数字が何か全然統一されていないというか、 |
| 0:23:39 | ちょっと不可思議な感じがするんですけど、どういう考えでこうですねここで剛性低下率、四捨五入っていうふうに、 |
| 0:23:49 | 下にしてその比1桁っていう考えにしたんですかね。 |
| 0:24:11 | さっき太田さん。 |
| 0:24:13 | 大野へと考えるちょっとお聞かせ願えますかすいません。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:24:17 | まずおそらく、私ちょっと地価が違ってたらお父さん訂正いただきたいんですけども、 |
| 0:24:26 | 剛性低下率を四捨五入するっていうことは、剛性低下率を後でルートをかけて、 V_s に変換して、こういう周期を考える時には V_s 分の用地になりますんで、 |
| 0:24:40 | その上げたり下げたりっていうよりは真ん中をとった方が、地盤のモードをより正確に表現できるかなと思います。それから減衰定数については切り捨てというのは、 |
| 0:24:50 | 応答を過小評価しないという観点からは、切り捨ての方がいいんじゃないかと我々考えてるところです。細川太田さんお願いします。 |
| 0:25:05 | では、 |
| 0:25:08 | 東電設計の大田ですけども、 |
| 0:25:14 | 5す。 |
| 0:25:15 | 有効数字の、 |
| 0:25:18 | ところの話なんですけれども、 |
| 0:25:34 | うん。 |
| 0:25:36 | 基本的に、 |
| 0:25:39 | で、今、 |
| 0:25:41 | 小数第一位で、 |
| 0:25:45 | 丸めておりますけれども、 |
| 0:25:55 | 基本的に、 |
| 0:25:56 | 元、もともとが損それほど、剛性低下率も、 |
| 0:26:01 | その剛性点。 |
| 0:26:03 | が、激しいというところもなく、ある程度、安定した自賠ゼロカーブの上では安定したところ、 |
| 0:26:13 | というところもありまして、 |
| 0:26:20 | 0.7から0.8から0.9ぐらいの |
| 0:26:24 | オーダーで、 |
| 0:26:28 | まず、 |
| 0:26:29 | 等価地盤モデルを作ると。 |
| 0:26:33 | まず考えがちょっと、 |
| 0:26:36 | すいません、当初あったと、ちょっと記憶してるんですけども。 |
| 0:26:41 | それで、 |
| 0:26:42 | 基本的に後それにこれに加えて、地盤の方のバスン側の、 |
| 0:26:48 | 感度といいますか、ばらつきの方も、 |
| 0:26:52 | あの当時ですけども、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:26:56 | 伺う前、 |
| 0:26:58 | ワンシグマ。 |
| 0:26:59 | を見てそこら辺で、この辺の |
| 0:27:02 | ばらつきも見ておりますので、 |
| 0:27:06 | 今、 |
| 0:27:08 | 御あの時点、10名、17年前の当初の |
| 0:27:14 | 時代の考えと、今回も同じにしてるんですけども、 |
| 0:27:21 | それから剛性低下率に関しては、ある程度は幅を持った感じで、 |
| 0:27:29 | 設定をしておりました。 |
| 0:27:32 | ちょっとすいません説明にならなくて、 |
| 0:27:38 | 規制庁野村です多分、当時のことはあまり覚えていない。こちら としても、特に認可したもののなので、 |
| 0:27:49 | 何か修正しろとか言うわけではないんですが何かちょっと不自然 な感じがして、 |
| 0:27:57 | 例えばG大高G0っていうか、初期てかせん断弾性係数そのものは 3桁なんですよね。 |
| 0:28:04 | 密度は3桁、ポアソン比はまあ蓋桁で剛性低下率は3桁で計算し て1桁にしてまたさらにそれを、 |
| 0:28:13 | Gで3桁に戻してるとか、 |
| 0:28:15 | 何かやってて、何か最後の最後に四捨五入するとかになったらあ かんですけど、途中で四捨五入してとかいうのは非常にですねわ からなくて、 |
| 0:28:26 | ではこの、こういう考え方をを使うとどうそのせん断ひずみと |
| 0:28:33 | とせず、せん断なぜケースの機器のそのグラフの中総曲線の反対 のようなグループ、もう要するに、これに相当隠して、 |
| 0:28:44 | ものになるわけですよこんな綺麗なカーブにならないから。 |
| 0:28:48 | このカーブ曾田みたいなセンチ、 |
| 0:28:51 | なるんですよだから、 |
| 0:28:53 | ちょっと理解できなかったところではあるんですが状況はわかり ました。以上です。 |
| 0:29:02 | 当店設計の青田ですけども、 |
| 0:29:07 | 実際のところはですね、 |
| 0:29:09 | 最終的には、この考え方でいかどうかってのは、等価線形解析 の応答値と、 |
| 0:29:18 | あと、こういった考えで作った等価地盤モデル。 |
| 0:29:24 | 作って、それで線形解析を行って、 |
| 0:29:28 | 応答値、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:29:29 | の大小関係、 |
| 0:29:31 | 深さ方向分も、 |
| 0:29:33 | 確認した上で、等価線形案。 |
| 0:29:38 | 等価線形をちゃんと上回ってることを確認しながら、 |
| 0:29:42 | 実際、あの当時もですけども、今回も、 |
| 0:29:49 | 保守的な応答になってるっていうのは確認しながら使っております。 |
| 0:29:54 | 確認しております。 |
| 0:29:56 | 補足ですけどもすいません。規制庁の野村ですけど。はい |
| 0:30:02 | 保守的になってば、特に文句言うところではない。 |
| 0:30:08 | ので、 |
| 0:30:09 | うん。そうですね。ちょっと私ももうちょっとよく見えています。以上です。 |
| 0:30:16 | でもその否定するものではないので。はい。以上です。 |
| 0:30:29 | 規制庁の河村です。その他確認事項とないでしょうか。 |
| 0:30:39 | よろしければ、本日のヒアリングについては、以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。 |
| 0:30:47 | ありがとうございました。 |
| 0:30:50 | ありがとうございました。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。